

島根県益田市

地図と連携した台帳管理の効率化、データ利活用を実現

【解決したい問題】 紙やエクセルによる非効率な台帳管理

- ◆ 益田市では、各部署で管理している台帳が紙媒体やエクセルであるケースが多く存在。
- ◆ 台帳の更新そのものに手間がかかる上、地図情報をはじめとする関連データと紐づけた集計分析が困難。データ利活用が進んでいなかった。

【課題】 kintoneによる台帳管理効率化と、データ活用促進

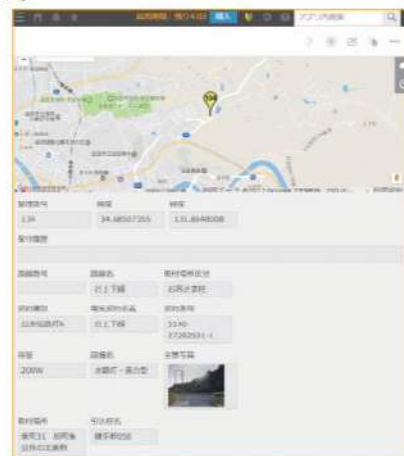
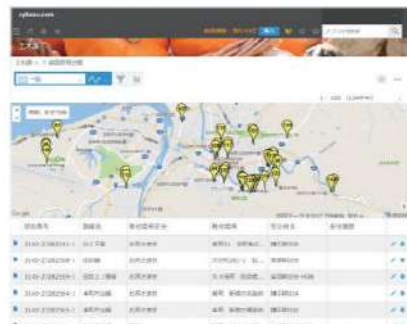
- ◆ 「道路照明台帳」や「空き家バンクナビ」などのアプリを作成、データ・写真・位置情報を集約して確認ができるように実装

道路照明台帳を電子化したい



道路照明台帳 （土木課）

既存の台帳を電子化したものです。現在は、その効果を検証中ですが、帳票と地図を同時に確認できるため、視覚的にスマートになったと感じており、確認作業も容易になりました。



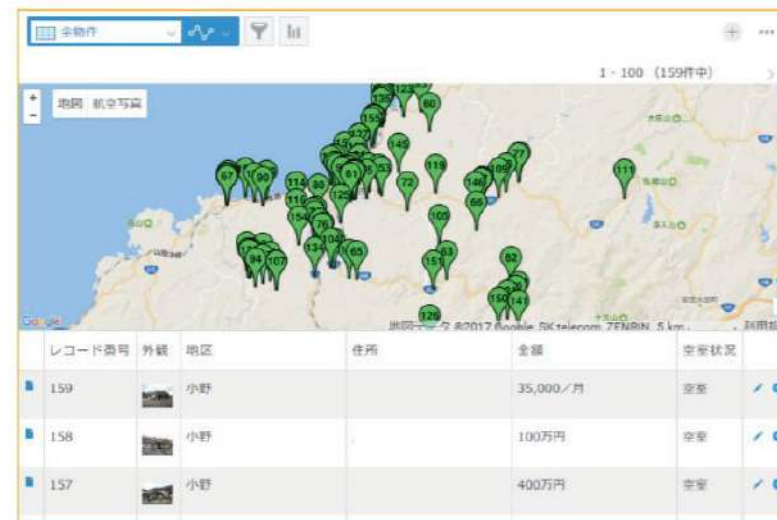
空き家情報を管理したい



空き家バンクナビ

これまで、空き家情報は表計算ソフトで管理していましたが、kintoneを使い見える化するによって所在地の把握が一目で分かるようになりました。

画像の取り込みが手作業になるので、過去の物件全ての画像を添付することに苦労しました。画像の取り込みも一括して取り込めるようになるとさらに便利になると思います。アプリ自体の作成は感覚的に行えるので、スムーズにアプリの作成が出来ました。作成後も編集が可能なので、日々良いアプリへと編集していければと思っています。



【導入効果】 kintoneによる台帳管理効率化と、データ活用促進

- ◆ 台帳関連業務の効率が大きく上がっただけでなく、kintoneのデータ集計分析を行い事業に反映。例えばバス停留所ごとの利用者数を分析して交通政策に活用することで、事業の品質向上を実現。

バス停をすぐに探したい



益田市内バス停留所

公共交通に関する3種類(民間路線バス・生活バス・乗合タクシー)の停留所を地図上にプロットして利用しています。住民の方からの問い合わせや要望の際に、バス停の名前はよく登場します。そのバス停の場所などを、写真や地図とリンクしたアプリを作成して情報を管理しています。



停留所ごとに利用者数を分析したい



停留所ごとの利用者数

乗合タクシーに関しては、停留所別の利用者数を蓄積しています。

これまでは年度ごとに集計していましたので、もしも年度をまたいで集計するときには、あらかじめ該当するデータ集計をしてグラフ化する手間が必要でしたし、データ量が膨大になってしまつて表計算ソフトが途中でフリーズしてしまうということもありました。

しかし、このアプリにしてからは、早く分析をしてくれますし、動作も安定していて、分析にかかる時間が短くて済むようになりました。



【導入効果】クラウドを活かし、災害対応のスピードアップにも

- ◆ さらに、kintoneのコミュニケーション機能を活かして災害時には災害対策本部室と現場の情報共有にも活用。有事の際のチームワークを支える。

被害状況を迅速に把握したい



被害状況報告

災害対策本部が立ち上がった後に、現場の被害状況を把握していくために作成しました。これまでは電話で様子を伝えることが主な伝達方法でしたが、このアプリを使うことでスマートフォンから写真や動画などを登録してもらい、より状況が把握できるようになればと考えています。

